

2012年5月30日

報道関係各位

小野薬品工業株式会社
広報室
TEL：06-6263-5670
FAX：06-6263-2950

英バイオフィーカス社と新規創薬標的の探索について新たな研究提携を開始

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、以下、当社）と BioFocus 社（本社：英国エセックス州サフロン・ワルデン、以下、バイオフィーカス社）は、アレルギー性疾患領域における新規創薬標的の探索について共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

今回の契約締結により、当社はバイオフィーカス社に対して、提携期間中の研究資金を提供するとともに、研究の進捗に応じた成功報酬を支払います。

バイオフィーカス社は研究資金の提供を受けて、ヒト由来初代細胞を用いた評価方法とアデノウイルスを用いた RNA 干渉技術を組み合わせた独自の創薬標的探索技術を駆使し、アレルギー性疾患（アトピー性皮膚炎、喘息など）に対する新規治療薬の創製に繋がる創薬標的を当社に提供します。当社は、提供された新しい創薬標的に対する作用薬を探索し、新薬候補化合物の創製を目指します。なお、2011年1月、当社とバイオフィーカス社は自己免疫疾患領域（リウマチ、乾癬など）における新規創薬標的の探索について共同研究契約を締結しています。

ガラパゴス社サービス部門上級副社長、兼バイオフィーカス社社長である Chris Newton 氏は、「小野薬品との研究提携は1年ほど前に始まりましたが、今回、別のプロジェクトで新たな提携を開始することができ大変喜ばしく思っております。これはバイオフィーカス社の創薬標的探索技術が高く評価されたものであり、小野薬品とバイオフィーカス社の提携関係がさらに強化されたものと考えています。」と述べています。

小野薬品の取締役 常務執行役員 研究本部長である川畔和一十氏は、「今回の提携は、バイオフィーカス社のヒト初代培養細胞を用いた新しい評価系を利用して、治療満足度の低いアレルギー性疾患領域における新規創薬標的の同定を目指しています。当社は、バイオフィーカス社の創薬標的探索技術を大変有用であると考えています。」と述べています。

<参考>

RNA 干渉技術について

RNA 干渉技術とは、リボ核酸 (RNA) の断片を細胞に導入して特定の遺伝子の働きを抑える技術です。人工 RNA を細胞に入れると、特定の遺伝子から蛋白質が合成されなくなるため、その影響を評価することで、特定の遺伝子の機能を明らかにすることができます。

バイオフィォークス社について

バイオフィォークス社は、創薬に必要な研究業務を総合的に提供する企業で、神経変性疾患や炎症性疾患における創薬経験が豊富であり、また希少疾患や顧みられない病気に対する新薬候補化合物の創製にも実績があります。バイオフィォークス社は、顧客のプロジェクトに対して先進的かつ包括的な創薬技術とノウハウを提供することで、創薬標的の同定のみならず、ヒット化合物やリード化合物、ならびに新薬候補化合物の創製に取り組んでいます。

なお、バイオフィォークス社は、ガラパゴス社の受託研究部門として活動しており、英国やスイス、オランダに 250 名を超える従業員を擁しています。1997 年の設立以来、バイオフィォークス社は高品質のデータを顧客に提供する様に務めており、その品質は ISO9001 によって認定されています。バイオフィォークス社の詳細な情報は同社のホームページ <http://www.biofocus.com> をご参照下さい。

以 上